

2006ダンロップトーナメント中国地区決勝大会

【実施要項】

- 主催 中国テニス協会・(株)ダンロップスポーツ
共催 SRIスポーツ(株)
- 主管 広島県テニス協会
- 協力 山口県テニス協会・岡山県テニス協会・鳥取県テニス協会・島根県テニス協会
- 期日 平成18年10月21日(土)～10月22日(日)
10月21日(土)
PM12:30 コート集合・開会式
13:00 試合開始
19:00 夕食・懇親会(試合終了状況にて変更いたします)
10月22日(日)
AM9:00 試合開始
試合終了後、表彰式。閉会式
- 試合会場 広島県びんご運動公園テニスコート
〒722-0022 広島県尾道市栗原町997番地 TEL0848-48-5446
- 選手・役員宿泊先
尾道国際ホテル
〒722-0014 尾道市新浜1丁目13番地6号 TEL0848-25-5931
- 競技種目 男子A級・男子B級・ベテラン・グランドベテラン・女子・女子ベテランのダブルスのみ
(注)ベテラン出場者は昭和36年12月31日以前に生まれた者
グランドベテラン出場者は昭和26年12月31日以前に生まれた者
- 競技方法 (1)各種目、個人戦、リーグ方式
(2)個人戦の成績をもとに、各県にポイントを与え団体戦の順位を決定する
(3)試合は、全て8ゲームスプロセット(8-8後12ポイントタイブレーク)
(4)W. Oは、8-0の負けとする
(5)各県、キャプテンを1名選出し、競技内容・日程変更時の打合せ窓口とする
(6)試合上の質疑は日本テニス協会の規則に基づき、レフェリーが裁定する
- 使用球 ダンロップフォート(イエロー)
- 参加資格 各県のダンロップトーナメントの成績に基づいて、各県テニス協会に推薦された選手
- 参加料 1組 8,000円(消費税込み) ※参加料は懇親会等の費用から優先的に充当させていただきます。
- 経費 現地までの交通費は自己負担
現地滞在中の経費、食事(懇親会費を含む)・宿泊費は主催者負担
(注) 10月21日(土)の昼食は、各自お済ませの上、コートに集合下さい。
- その他 天候その他、やむをえない事情により、本大会要項を変更する場合があります
プラクティスコートの案内
10月21日(土) AM10:30～11:30 大会本部にて受付致します

以上

第26回
ダンロップトーナメント
中国地区決勝大会

期間 2006年10月28日(土)~29日(日)

会場 広島県びんご総合運動公園

主催 中国テニス協会
株式会社ダンロップスポーツ

共催 SRIスポーツ(株)

主管 広島県テニス協会

協力 岡山県テニス協会
山口県テニス協会
鳥取県テニス協会
根拠県テニス協会
(順不同)

使用球 ダンロップ・フォート



大会役員

大会名誉会長	岡田泰一	(中国テニス協会 名誉会長)
大会会長	木坂孝治	(中国テニス協会 会長)
大会副会長	本田宏道 本有坂誠	(広島県テニス協会 会長) (株式会社ダンロップスポーツ代表取締役社長)
大会参与	松尾寿 神保健 伊原木一衛 藤井省三 三村修平 菱田実伯 熊本昌宏 中西伊知郎 下津浦将州	(島根県テニス協会 会長) (山口県テニス協会 会長) (岡山県テニス協会 会長) (鳥取県テニス協会 会長) (SRIスポーツ株式会社テニス営業部部长)(ダンロップ) (株式会社ダンロップスポーツテニス営業副本部长) (株式会社ダンロップスポーツ テニス販売促進部部长) (株式会社ダンロップスポーツ テニス販売促進部部长) (株式会社ダンロップスポーツ テニス営業部部长)
大会委員長	津島則之	(中国テニス協会 理事長)
大会副委員長	梅原豊治	(中国テニス協会 副理事長)
大会委員	高橋由啓 高稲田	塚原正人 村本茂樹 河野博之
競技委員長		(広島県テニス協会)
競技委員		大石孝岡本治之
レフェリー		(広島県テニス協会)

大会日程

第1日 10月21日(土)

- 12:30 コート集合・開会式
- 13:00 試合開始
- 19:00 夕食・懇親会 (試合終了状況にて変更いたします)

第2日 10月22日(日)

- 9:00 試合開始
- 試合終了後 表彰式・閉会式

競技方法

- (1) 個人戦のラウンドロビン方式(総当たりリーグ戦)で行うが、その成績を基に県別のポイントを算出し、団体戦の成績とする。
- (2) 試合は、全試合8ゲームスプロセット(8-8後 12ポイントタイブレーク)セットブレーク方式。
- (3) 団体戦ポイント
 - 各種目 優勝ペアの県に 5ポイント
 - 各種目 準優勝ペアの県に 3ポイント
 - 各種目 第3位ペアの県に 1ポイント・順位決定方法
 - (イ) 個人戦
 - ①勝率の高い者を上位とする。
 - ②同率の場合、直接対決による勝者を上位とする。
 - ③3チームによる同率の場合は、取得ゲーム率の高い方を上位とする。
 - ④リタイアの場合、リタイアまでの取得ポイントは有効とする。
 - ⑤W. Oは8-0の負けとする。
 - (ロ) 団体戦
 - ①取得ポイント合計の多い方を上位とする。
 - ②同ポイントの場合は、各種目の勝敗数を合計し、その勝率を高い方を上位とする
 - ③同率の場合は、全ゲームの取得ゲーム率の高い方を上位とする。
- (4) 審判はすべてセルフジャッジとします。
- (5) 各県、キャプテンを1名選出し、競技内容、日程変更時の打ち合わせ窓口とする。
- (6) 試合上の質疑は日本テニス協会の規則に基づき、レフェリーが裁定する。
- (7) ウォーミングアップタイムは、全て5分以内とする。
- (8) 使用球:ダンロップフォート(イエロー)
- (9) 服装について:ウォーアップの着用については、寒さに応じてレフェリーより連絡します。(Tシャツ・ジョギングパンツの着用は不可、それ以外についてはJTAコートに準ずる。)